

4月号 学位記授与式

(首都圏)東京国際フォーラム(ホールA)にて学位記授与式・修了式が挙行されました。

2022.3.16

東京の桜が満開になり、快晴の中、首都圏の学位記授与式が行われ、596名の卒業生が東京医療保健大学を巣立っていきました。今年度は千葉看護学部 看護学科の第1期生の卒業という記念すべき学位記授与式でした。

- 医療保健学研究科 博士課程2名 修士課程26名
- 看護学研究科 博士課程4名 修士課程30名
- 助産学専攻科20名
- 医療保健学部 看護学科 114名 医療栄養学科74名 医療情報学科23名
- 東が丘・立川看護学部 看護学科(臨床看護学コース)102名 看護学科(災害看護学コース)98名
- 千葉看護学部 看護学科103名

～～ご卒業おめでとうございます。～～



(和歌山)和歌山県民文化会館にて学位記授与式が挙行されました。

2022.3.11

和歌山看護学部 看護学科と大学院 和歌山看護学研究科、第1期生の学位記授与式が行われました。入学した時に先輩方がいない中、横のつながりを強め、様々な新しい行事を1から作り上げていった1期生の皆さん。大変だったことも多かったと思いますが、見事に乗り越え、後輩に引き継いでくれました。ありがとうございました。皆さんが築いてくださった歴史を確実に次の世代につないで参ります。

和歌山看護学研究科 修士課程 10名

和歌山看護学部 看護学科 100名

～～ご卒業おめでとうございます。～～



3月15日に第1期生の卒業を祝う会を開催しました。当日は、卒業生の約80名が、船橋キャンパス体育館に集まりました。この会は、学生の有志と開催を支援する教職員が2021年12月より企画し、国家試験終了後から本格的に準備を進めたものです。プログラム前半は、レクリエーションで学生と教員混合の5グループに分かれて、「絵しりとり」と「しっぽとり」を行い、ほぼ2年ぶりに体育館で体を動かしました。後半は、教職員からのメッセージと看護研究配置領域毎に学生一人一人へお祝いの花が手渡されました。卒業生からも事務部および領域毎に花かごが贈呈されました。卒業生にとっても教職員にとっても4年間を振り返り、未来へ歩みだすエネルギーを充電する時間となりました。



認知症サポーター20名誕生！

2022.3.11

千葉看護学部が目指す地域との協働・共生を学ぶ活動の一環として、認知症の人と家族を温かく見守る「応援者」育成の目的で、3月11日（金）に2年ぶりとなる認知症サポーター養成講座を開催しました。当日は1年生10名、1年生1名、3年生4名と教職員5名、合計20名の参加でした。90分の講座では、DVD視聴と講義で基本的知識を学び、認知症について正しく理解した後、認知症のある方への接し方をグループで検討しました。受講後は「認知症の方が困っている様子を見かけたら声をかけたい」「具体的な事例をもとに自分はどのようにすべきか対応を考えることができた」という感想が聞かれました。今後もサポーター養成に尽力していきたく思います。



認知症に関する講義



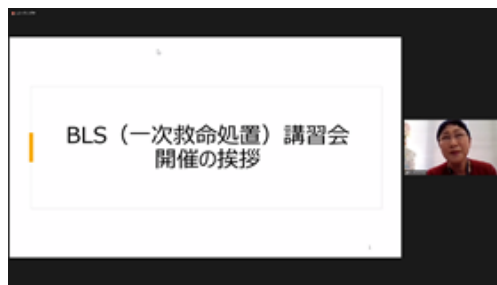
認知症のある方への接し方についてのグループ検討

雄湊キャンパス

BLS講習会をオンラインで実施しました

2022.2.28

和歌山看護学部では、1年生を対象としたBLS(一次救命処置)講習会をオンラインで行いました。当日は、2,3年生も自宅よりサポートメンバーとして参加し、講習会の始めにBLSについて、スライドを交えながら1年生に説明しました。その後は、胸骨圧迫の専用アプリを用いて、全員で胸骨圧迫の演習に取り組みました。胸骨圧迫は、家のクッションやペットボトルをシミュレーター代わりに使用することで、自宅に居ながら練習を行うことができます。圧迫のテンポを100~120回/分で実施できると画面の表示がGoodマークで表示され、それを確認しながら圧迫の速度を練習します。オンラインのため、今回は自宅での演習となりましたが、1年生は全員熱心に取り組んでいる様子が見られました。機会があれば、次は本物のシミュレーターで是非チャレンジしてくださいね！



国立病院機構キャンパス

だるま目入れ式

2022.3.25

国立病院機構キャンパス学生ホールにてだるまの目入れ式が行われました。代表学生3名と教員が集まり、見守られながら代表学生が気持ちを込めて目を書き込んでくれました。学生は、国家試験を終えて4月から始まる看護師として働く意気込みを宣言しました。

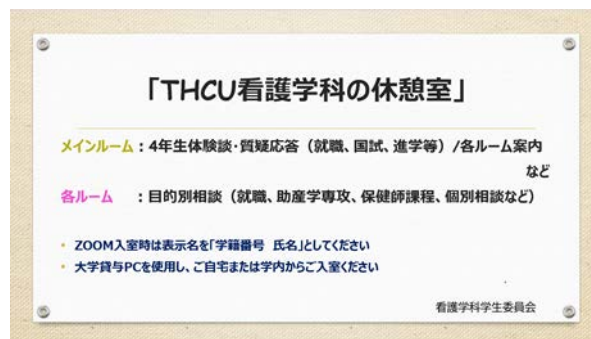


五反田キャンパス

「THCU看護学科の休憩室」を開催しました。

2022.2.17

医療保健学部看護学科学生委員会主催の「THCU看護学科の休憩室」を開催しました。コロナ禍になってから2年連続の開催でした。Zoomで学生同士や教員と雑談したり、関心のある窓口で相談の機会を設けました。冒頭、坂本学科長から挨拶があり、メインルームにて4年生から就職活動について、病院選びのポイントや面接対策についての話しをしてもらいました。また、国家試験の勉強法やゼミを選ぶ際のポイント等の体験を話していただき、その後は各ルームに分かれて、助産学専攻科への進学の話や、保健師コースの話等、活発に意見交換を行いました。4年生7名、3年生~1年生8名、教員13名、カウンセラーの原田先生等、総勢30名以上が集まりました。今後も、このような機会を設け、対面授業がない中でも先輩・後輩との情報共有できる場を提供していきたいと思っています。



晴天のもと、立川市消防団出初式が行われました。

2022.1.09

令和4年1月9日(日)、「令和4年立川市消防出初式」(立川市主催)が国営昭和記念公園緑の文化ゾーンにて新型コロナウイルス感染症対策を万全に講じた上で実施されました。当日の参加総団員数は183名で、うち本学部学生消防団員(機能別分団員)26名が参加しました。当日の役割内容は、受付、行進ブースの案内、各種機能別分団としての案内他を行ない、団員一人ひとりが一生懸命に取り組む姿勢が見受けられました。立川市吹奏楽団の生演奏を行進曲として本学部の学生団員も堂々の行進を行い、フィナーレでは、消防団全員による一斉放水で会場全体が盛り上がりました。素晴らしい晴天のもと、多くの立川市民が見守る中で2年ぶりの開催となりました。今後も、より一層、地域住民から信頼され、頼りにされる消防団員を目指し、消防団活動に励んで参ります。



立川シティハーフマラソン 2022が行われました！！

2022.3.13

令和4年3月13日(日)陸上自衛隊立川駐屯地～国営昭和記念公園(立川市主催)にて新型コロナウイルス感染症対策を万全に講じた上で2年ぶりに開催されました。当日は天候にも恵まれ、参加者は、ハーフマラソン4,659人(内学生選手権大会参加者499人)、10kmの部393人、3kmの部854人、親子ペアの部245組490人、車いす参加者6名、参加者総6,402名となりました。本学部からは一般ボランティア学生とACTサークルを含め60名の学生が応募しました。当日のボランティア活動内容としては、各救護所における医師、看護師のサポート、給水所のサポートを率先して行いました。例年より参加者が若干減少した大会となりましたが、コロナ禍の中で大勢の方が参加した大会となり、本大会関係者より参加した学生に対して大変感謝している旨、お言葉をいただきました。これからも地域貢献できるよう率先してボランティア活動に取り組んで参ります。



立川駐屯地滑走路スタート地点



救護所 医師、ボランティア学生 看護師

大会会長、立川市長 清水庄平さん
東京陸連会長 増田明美さん

編集後記

THCUキャパでは各キャンパスで行われている、主な行事をお伝えしています。今後もたくさんの皆さんに読んでいただく為に、次号(6月号)からリニューアルいたします。お楽しみに！